

# 林業安全コラム

新たな視点でみつめる職場  
 創意と工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災  
 (平成30年度 全国安全週間スローガン)

今月は、伐木等作業における労働災害防止に向けた愛媛県の取組をご紹介します。

## ○ 愛媛県：林業労働安全研修施設の整備

伐木等作業における安全対策の充実強化は全国的な課題となっています。特に、かかり木になりやすい樹種であるヒノキの生産が多い愛媛県では、伐木等作業における安全の確保は、今後増産を図るうえでも重要な課題の一つです。

そこで、愛媛県では、伐木、枝払い、造材、メンテナンスといったチェーンソーに関する技術の習得を行う訓練施設「室内実習棟」および研修機器を愛媛県農林水産研究所林業研究センター（愛媛県上浮穴郡久万高原町）に整備しました。

この施設は、「伐木・造材施術室内トレーニングルーム」、「チェーンソーメンテナンスルーム」、「高性能林業機械シミュレーションルーム」の3つに区切られ、研修機器は主に「伐木・造材室内トレーニングルーム」で使用します。研修機器には、「伐倒シミュレーター」、「かかり木処理シミュレーター」、「造材シミュレーター」などがあります。立木の伐倒作業の反復訓練を行う「伐倒シミュレーター」では、伐倒方向を定め、受け口と追い口を正しく作る反復練習を行います。鉛直方向から5度程度の偏心木の再現も可能です。



室内実習棟

これまで地元中学校の林業体験学習で25名、林業研究グループの研修で15名の方が利用されました。研修参加者からは、「この施設であれば、本来危険な作業であっても、安全性を確保して訓練を行うことができる。例えば風倒木に近い状態を作り、裂ける、割れるといった状況を安全に再現できるので、価値は大きい。」などの声が寄せられています。

今後については、①体系化された指導書の作成、②指導書に沿った訓練の実施、③室内実習棟および研修機器の安全な使用方法をカリキュラムとした「指導者養成研修」を実施することによって、県内各事業体のリーダーに、当施設を活用した担い手育成指導者としてのスキルを高めていただき、事業体の自主的活動を促し、人材育成の拠点としての機能を高めていきたいとのことです。



伐倒シミュレーター



かかり木処理シミュレーター



造材シミュレーター

林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）

・北海道（警報発令期間：H30.7.1～H30.7.31）

・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.htm>

・林業退職金共済制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-sosei.org

林野庁  
 林業労働対策室  
 労働安全衛生班  
 TEL:03-3502-1629



# 林業安全コラム

健康な心と体で安全作業  
目指すは笑顔の無災害  
(平成30年 年間標語)

## ○ 引き続き熱中症に警戒を！

熱中症は、高温多湿な環境で長く作業するなどにより、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能が働かなくなることで発症する様々な症状を指します。熱中症にかかると、めまい、立ちくらみ、筋肉痛、筋肉のこむら返り、大量の発汗、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感などの症状が現れ、重症になると、呼びかけなどへの反応がおかしい、意識障害、けいれん、体に触ると熱いなどの症状が現れますので注意が必要です。熱中症が疑われる場合には、風通しの良い日陰など涼しい場所で休息を取る、衣服を緩め、首回り、脇の下、足の付け根などを冷やす、水分・塩分、経口補水液（食塩とブドウ糖を溶かしたもの）などを補給する、また、自力で水が飲めない、意識がない場合には、すぐに救急車を呼ぶなどの対応をお願いします。

本年は全国的に記録的な暑さとなっており、8月も猛暑が警戒されますので、引き続き、熱中症対策の一層の取組をお願いします。

## ○ 平成30年の労働災害発生状況

平成30年における労働災害発生状況（速報）によると、平成30年1月～6月の林業の死傷災害は612件で、前年同期比で38件（6.6%）増加しています。

平成30年における死傷災害発生状況（死亡災害及び休業4日以上死傷災害）（速報）  
（平成30年7月9日現在）

業種	平成30年(1月～6月)		平成29年(1月～6月)		対29年比較	
	死傷者数(人)	構成比(%)	死傷者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	49,741	100.0	46,872	100.0	2,869	6.1
建設業	5,942	11.9	5,982	12.8	-40	-0.7
林業	612	1.2	574	1.2	38	6.6

資料：厚生労働省「平成30年における労働災害発生状況（速報）」

一方、平成30年1月～6月の林業の死亡災害は14件で、前年同期比で6件（30.0%）減少、前々年同期比で2件（12.5%）減少していますが、例年同様、伐木関連作業における災害、60代以上の高齢者の死亡災害が多発していますので、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」等に基づき、適切な伐木等の作業方法や防護衣等の着用の周知徹底等の指導を、また、高齢の現場作業者がいらっしゃる事業体におかれては特段の配慮をお願いします。

## 平成30年における死亡災害発生状況（速報）

（平成30年7月9日現在）

業種	平成30年(1月～6月)		平成29年(1月～6月)		平成28年(1月～6月)		対29年比較		対28年比較	
	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	321	100.0	377	100.0	382	100.0	-56	-14.9%	-61	-16.0%
建設業	115	35.8	120	31.8	116	30.4	-5	-4.2%	-1	-0.9%
林業	14	4.4	20	5.3	16	4.2	-6	-30.0%	-2	-12.5%

資料：厚生労働省「平成30年における労働災害発生状況（速報）」

- 一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.htm>

- 林業退職金共済制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。
- 労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局  
TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-osei.org）

林野庁  
林業労働対策室  
労働安全衛生班  
TEL:03-3502-1629



# 林業安全コラム

こころとからだの健康づくり  
みんなで進める働き方改革  
(全国労働衛生週間スローガン)

今月は、正確で安全な伐木技術を習得するための高知県の取組をご紹介します。

## ○ 高知県立林業大学校：数値による明示的な評価手法を導入した研修の実施

高知県立林業大学校では、東京大学大学院の飛田京子氏を講師に招き、7月25日から27日まで、基礎課程の研修生を対象に、数値による明示的・客観的な評価手法を導入した伐倒作業の反復練習により正確なチェーンソー操作を身に付け、チェーンソー作業の安全性の向上を図るための「チェーンソーワーク研修」を実施しました。同氏を講師として実施する研修は本年2月に続いて2回目となります。

今回の研修では、

- ① 垂直に立てた直径30cm程度の丸太を使用した伐倒訓練による正確な受け口、追い口の作成、正確な伐倒方向の数値化とデータ収集
- ② 15m先に伐倒方向の目標を定め、ガンマークを活用して正確に目標とする方向に受け口が作成できたか精度を確認
- ③ 回転計でチェーンソーの回転数を確認しつつ、丸太を一定の回転数を保ちながら伐る練習や早く伐るために最適な回転数を体で覚える練習
- ④ 研修最終日には2日間の研修の成果である受け口、追い口、ツル幅、伐倒方向の精度を競うコンテスト

など実習中心のカリキュラムを3日間にわたり実施しました。



受け口の角度の計測と記録



ガンマークを活用した受け口の精度確認

林大の担当によると、研修で実施した成果を数値化して表現する手法は生徒にとっても非常にわかりやすい、平場でしっかり練習して山で実践していきたい、とのこと。また、研修を受講した研修生からは、伐倒方向の正確性や受け口の角度、ツルの均等さや幅等を測定し記録することで、具体的に何が悪いかわかりやすく、改善できるのでとても勉強になった、とのこと。

林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）  
・岩手県（警報発令期間：H30.8.22～H30.11.30）

・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.htm>

・林業退職金共済制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-osei.org)

林野庁

林業労働対策室

労働安全衛生班

TEL:03-3502-1629



# 林業安全コラム

こころとからだの健康づくり  
みんなで進める働き方改革  
(全国労働衛生週間スローガン)

## ○ 平成30年1月～8月の労働災害発生状況について

「平成30年における労働災害発生状況（速報）」によると、1月から8月の林業における死亡災害は19件で、前年同期比で8件減少（-29.6%）しています。

### 平成30年における死亡災害発生状況（速報）

（平成30年9月7日現在）

業種	平成30年 (1月～8月)		平成29年 (1月～8月)		平成28年 (1月～8月)		対29年比較		対28年比較	
	死亡者数 (人)	構成比 (%)	死亡者数 (人)	構成比 (%)	死亡者数 (人)	構成比 (%)	死亡者数 (人)	構成比 (%)	死亡者数 (人)	構成比 (%)
全産業	505	100.0	557	100.0	508	100.0	-52	-9.3%	-3	-0.6%
建設業	173	34.3	186	33.4	155	30.5	-13	-7.0%	18	11.6%
林業	19	3.8	27	4.8	20	3.9	-8	-29.6%	-1	-5.0%

出典：厚生労働省「平成30年における労働災害発生状況（速報）」

一方、林業における死傷災害は814件で、前年同期比で44件増加（+5.7%）しています。

### 平成30年における死傷災害発生状況（死亡災害及び休業4日以上死傷災害）（速報）

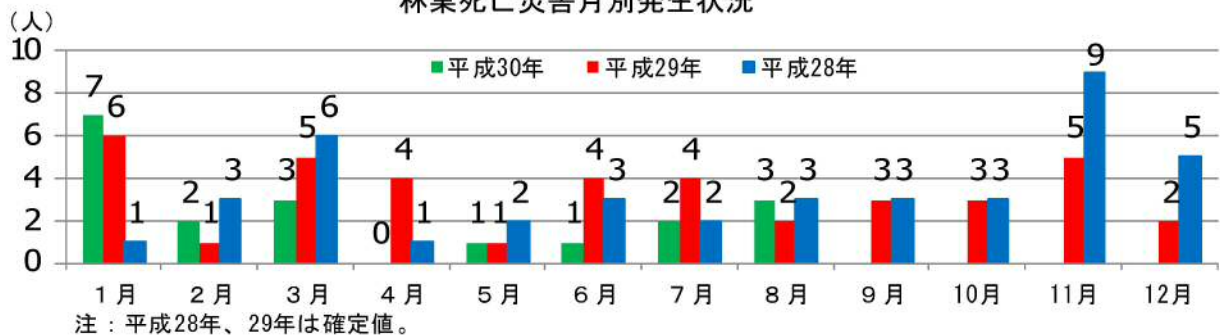
（平成30年9月7日現在）

業種	平成30年(1月～8月)		平成29年(1月～8月)		対29年比較	
	死傷者数(人)	構成比(%)	死傷者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	71,253	100.0	66,485	100.0	4,768	7.2
建設業	8,669	12.2	8,566	12.9	103	1.2
林業	814	1.1	770	1.2	44	5.7

出典：厚生労働省「平成30年における労働災害発生状況（速報）」

死亡災害を発生月別にみると、以下のとおり伐採適期の秋以降に増加する傾向がみられます。

### 林業死亡災害月別発生状況



本年もこれから伐採作業が本格化しますが、引き続き、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」等に基づき、チェーンソーを用いた伐木・造材作業における防護衣等の着用と適切な作業の実施等にご留意いただくようお願いします

### 林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）

・岩手県（発令期間：H30.8.22～H30.11.30） ・福井県（発令期間：H30.9.18～H30.12.31）

- ・10月1日～7日は平成30年度全国労働衛生週間です。  
→ [https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000170527\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000170527_00001.html)
- ・10月は林業退職金共済制度加入促進強化月間です。  
林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。
- ・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。  
（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局  
TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-osei.org）

林野庁  
林業労働対策室  
労働安全衛生班  
TEL:03-3502-1629



# 林業安全コラム

健康な心と体で安全作業  
目指すは笑顔の無災害  
(平成30年 年間標語)

今月は、安全で効率的な伐木等技術の習得に向けた和歌山県の取組をご紹介します。

## ○ 和歌山県：林業技能研修施設（仮称）の整備

和歌山県では、森林ゾーニングによる適正な森林管理、素材生産体制の強化、原木流通体制の強化、県のブランド材「紀州材」の加工販売体制強化を柱に、森林管理と木材の生産・流通・加工販売の各分野において、効果的に施策を実施し、平成33年次の素材生産量を26万m<sup>3</sup>まで引き上げるべく取り組んでいます。

この取組の推進には、担い手の育成・確保が不可欠であるため、平成29年4月に県農林大学校林業研修部を開講し、新規就業希望者から既就業者まですべての階層別研修を実施するとともに、平成30年度において、高度な安全技術と効率的生産技術を有する研修施設を整備することとしています。

この拠点となる施設では、全国に先駆けて傾斜伐倒装置を導入するとともに、風倒木伐採訓練装置を設置し、急傾斜地での伐倒や、危険性が高い風倒被害木の除去などの技術習得に向けて、より安全で効率的な研修を実施していきます。

10月に導入した傾斜伐倒装置を活用した研修の受講生からは、「従来の伐倒装置に比べ、現場で作業している感覚がある。」、「自身の伐倒時の動きやクセを見直すことができる。」、「同じシチュエーションで反復練習ができる。」といった声が聞かれ、導入の効果が期待されているところです。



導入した傾斜伐倒装置



傾斜伐倒装置を活用した研修

和歌山県では、今後、この施設をさらに充実させ、県はもとより関係機関等でも利用いただき、安全で効率的な研修のもと労働安全対策の充実を図っていく予定とのことです。

### 林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）

- ・岩手県（発令期間：H30. 8. 22～H30. 11. 30）・福井県（発令期間：H30. 9. 18～H30. 12. 31）
- ・北海道（発令期間：H30. 10. 16～H31. 1. 31）

- ・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.htm>

- ・林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。
- ・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-bosei.org)

林野庁  
林業労働対策室  
労働安全衛生班  
TEL:03-3502-1629



# 林業安全コラム

みんなで感謝の総点検  
笑顔で迎える 年末年始  
(平成30年度年末年始無災害運動標語)

先月東京都あきる野市で開催された2018森林・林業・環境機械展示実演会で、安全関連として目についた商品等をご紹介します。

## ○ キッツキ・ハンマー プラムシステム(有) 【来年4月販売予定】

キッツキ・ハンマーは騒音環境下で働く作業者の安全・安心確認装置として主に土木現場用に販売されているそうです。今回展示されていた新製品は、ゲートウェイインターフェイスを搭載し、現行のものより通信距離が5倍に伸びているとのこと。

その他の特徴は、作業者の転倒・滑落・打撲での急激な身体変動を加速度センサーが感知し無線(LPWA LoRa)で遠隔の仲間知らせるそうです。また、急に動けない状況に陥った場合であっても、一定時間の動いていない状況を感知して遠隔の仲間知らせるそうです。



親機1、子機5（子機1つはヘルメットに装着）

作業員同士が一定の距離を保ちつつ作業する林業現場では、周囲に声が届きにくく、怪我をしても遠隔の作業員が気がつかず、早期発見されにくい状況にあります。そのような環境の改善に期待できそうです。

## ○ 安全関係シミュレーション (株)レンタルのニッケン・コマツ

レンタルのニッケンでは「シミュレーションで作業に潜む危険を知る」をキャッチコピーに写真の装置が展示されていました。左は、チェーンソー作業時の「キックバック」をシミュレーションする装置です。右は、正しい「受け口」や「追い口」が練習でき、実際に伐倒まで行うことができる伐倒練習機です。これ以外にも、無駄な動きや負担の少ない枝払い方法を学ぶ枝払い練習装置などがありました。

コマツでは、ハーベストシミュレータを体験するブースがありました。北欧では、シミュレータによる十分な経験がないと実物は操作できない仕組みだそうです。



キックバック体験装置



伐倒練習用丸太固定装置

何事も体験や練習の積み重ねが必要ですね。

**林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）**  
 ・福井県（発令期間：H30.9.18～H30.12.31）・北海道（発令期間：H30.10.16～H31.1.31）

一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.htm>

林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-osei.org)

林野庁  
林業労働対策室  
労働安全衛生班  
TEL:03-3502-1629